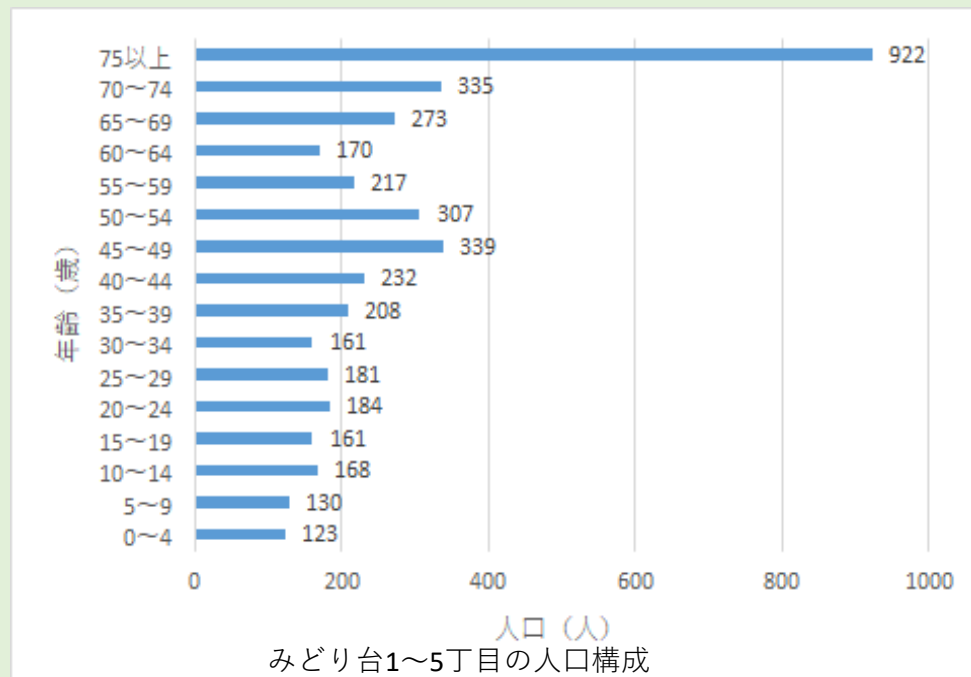


背景

●地域の課題

- みどり台地域エリアについて
 - ・ 人口構成



少子高齢化が進行している(65歳以上37.2%)

➡ **人口減少により空き家空き地が増加している**

- 地域活動について
地元の方々を中心に精力的な活動

- | | |
|---|--------------------------------|
| ・ 活動主体 | ・ 活動内容 |
| <div>┌ 新青田町会
├ さわやかクラブ
└ チームばんばん など</div> | <div>┌ 広場の園芸
└ サロンなど</div> |

➡ **高齢者が主体であり、世代間交流も少ない
コロナウイルスの影響で活動に制限がある**

●ふうせん広場

➤ 概要

地域住民に開放されている空き地
チームばんばんを中心に盛んに活動を行っている



➤ 現状と展望

- ・ 園芸などの活動を盛んに行っているものの、活動メンバーが固定化し、**近所の方々や子供たちなどをあまり巻き込めていない**
- ・ 活動が自由な場としてあまり認知してもらっておらず、**空き地を最大限に利用できていない**

空き地の特性を活かしながら、近所の人たちが気軽に立ち寄り、子供たちとの多世代の交流も育むような広場にしたい

提案のコンセプト：砂場班

●現状の課題と広場に必要なもの

課題

- 世代間交流が生めてない
- 地域の人にとって身近な空間になっていない
- 空き地の有効活用

⇒広場を使いやすくすること

必要なもの：日陰、座る場所、自由に使える空間など

* アイデアイメージ



●将来イメージ

今後、みどり台地区でも増えていくと考えられる空き地を「共有スペース」として近隣の人たちが自由に利活用、管理していく姿



共有スペース



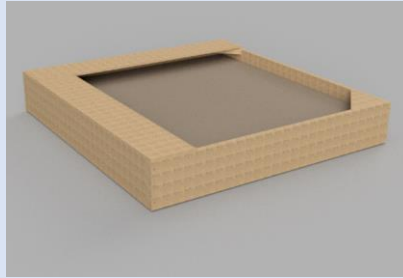
アクションの内容と成果：砂場班

●アクションの内容

砂場を制作しました！



設計イメージ

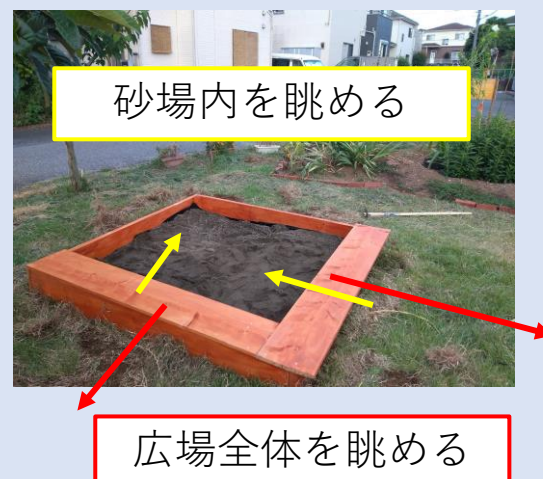


【砂場にした理由】

- 地域の方からの「子どもが使える」というご意見
- 遊具を設置することで遊ぶ場所だと認識できる
- デザイン的に実現可能、危険性が少ない
- 小さい子ども（未就学児から）でも遊べる

【デザインのこだわり】

- 座るところがある
- 木の下に設置し日陰を確保
- ベンチ部分の向いてる位置を工夫（広場を見ながら座れる・砂場の中も向ける）
- 花壇よりに設置することでエリアの使い分け



【使い方】

中で遊ぶ、おしゃべり、お茶をする、子どもの遊ぶ様子を見守る、日陰で休憩

【注意事項】

使用時にはネットを外し、使用後にネットを戻す

●成果

- 子どもたちが砂場制作にかかわり、学生や大人たちとも交流することができた
- イベントに参加した子どもたちが楽しく遊んでくれた
- 常時でも気軽に使用できるようにネット取り外しのサインを設けた



提案のコンセプト：青空教室班

●提案概要

東大生の青空教室

十余二小の小学生を呼び、東大生とふうせん広場で活動する



ふうせん広場を知り、愛着を持ってもらう

子供たちに身近な広場として使ってもらい、**多世代で地域内の交流を生む活気ある広場にする**

東京大学大学院 地域活動デザインスタジオ主催

東大生の青空教室 in みどり台

8月7日(土)
10:00~12:00

東大生と広場で遊ぼう！

@ふうせん広場(低学年向け)

地域みんなで一緒に、
広場の看板づくり&ガーデニングをしよう！
ミニゲームやクイズ大会も？！
夏休みの楽しい思い出をつくろう♪

8月7日(土)
14:00~16:00

東大生とお話しよう！

@ZOOM(全学年向け)

「東大生ってどんな生活してるの？」
「柏キャンパスってなあに？」
そんな疑問に東大生が答えます！
保護者の方の参加也大歓迎♪

8月21日(土) 東大生と広場を作ろう！(高学年向け)

10:00~12:00

@ZOOM

「東大ってどんな研究してるの？」
「柏キャンパスは大学院？」
「ふうせん広場ってなに？カシニワ??」
東大とふうせん広場について知ろう♪

14:00~16:00

@ふうせん広場

広場をもっと楽しい場所にええちやおう！
何を置く？何をしたい？
自分たちの思いを乗せた広場を
地域みんなと一緒につくってみよう！

※午前だけの参加も可能です
(午後のイベントの説明も行うので合わせてのご参加を推奨します)



地域活動デザインスタジオのメンバーです！
一緒に夏休みの思い出を作りましょう！

申し込み必須です(裏面)！

●提案の狙い・コンセプト

①多くの子供たちにふうせん広場を知って、 使ってもらいたい

- ・十余二小の全校生徒にチラシを配布する
- ・青空教室と題して勉強の要素を入れることで、親御さんの関心を引き、参加者を増やす
(当初はオンラインでの勉強会を予定していたが、低学年の参加が多く、広場での遊び中心に移行した)

②子供たちが継続的に使ってくれるよう、 愛着を持ってもらいたい

- ・ふうせん広場に残るものを作成する
- ・地域の未来を一緒に考える
(結果的には低学年の子供たちが集まったので、楽しんでもらい記憶に残ってもらうことを重視した)

③世代間の交流のきっかけを作りたい

- ・地域の方々も一緒に活動に参加してもらう
- ・親御さんも参加してもらうことで、地域の人々と関係性を作り信頼関係を構築する

④空き地(屋外)だからこその使い方を提案したい

- ・コロナ禍でも楽しめるプログラムにする
- ・公園ではできない自由な使い方をする

アクションの内容と成果：青空教室班

●イベント内容

ふうせん広場にて、子供向けのイベントを2回実施しました！
イベントの概要は以下の通りです。

東大生の青空教室 第1回

日時：8月7日(土)

活動内容：自己紹介、花壇整備、看板製作

参加者：子供たち10名と保護者の皆様、町会の皆様、社協の皆様、地域スタジオのメンバー計20名ほど

東大生の青空教室 第2回

日時：8月21日(土)

活動内容：自己紹介、看板製作、花壇整備、すいか割り

参加者：子供たち8名と保護者の皆様、町会の皆様、社協の皆様、地域スタジオのメンバー計20名ほど



上：自分の好きなお花を選んで花壇に植えました。
右：すいか割りで夏気分を味わいました。



上：大青田の森で取れた木の枝を使って、看板づくりを行いました。

●イベントの成果

①多くの子供たちにふうせん広場を知って、使ってもらいたい

- ・ イベントに参加してくれた子供たちはふうせん広場を楽しく使ってくれた。
- ・ コロナの感染状況の悪化もあり、2回目以降は学校にチラシを配布できなかったため、まだ参加者は限定的。

②子供たちが継続的に使ってくれるよう、愛着を持ってもらいたい

- ・ 第1回の参加者の多くが第2回のイベントにも参加してくれた。「次はいつ？」と聞いてくれる子、大青田の森のイベントの後に、「ふうせん行こうぜ！」と声を掛け合う子もいて、参加してくれた子供たちはふうせん広場に愛着を持ってくれたように感じる。

③世代間の交流のきっかけを作りたい

- ・ イベントを通して町会の方と子供たち、保護者の方、学生が楽しく交流することができた。

④空き地(屋外)だからこそその使い方を提案したい

- ・ 花壇整備、看板製作と空き地の性質を生かした遊びができた。



看板の裏側には、好きな色を選んで手形をつけました。



砂場班が制作した砂場で記念撮影！たくさんの子供たちが楽しんでくれました。

アクションを踏まえた今後の展開

●目指す地域の将来像

- 子どもから大人まで誰でも交流できる地域
- 空間を自由に自分たちでカスタマイズができる地域

●今後の課題

- より多くの人にふうせん広場との関わりを持ってもらうこと
 - ・ 新型コロナウイルスの感染状況の悪化により、2回目のイベントはチラシを配布できなかった&イベント参加を取りやめた方もいた。
 - ・ 感染状況を見つつ、これまで参加したことのない方々にもアプローチしたい。
- イベントに参加してくれた方々に、今後も継続的にふうせん広場を利用してもらうこと
 - ・ 20名ほどの地域の子供たちと保護者の方がイベントに参加してくれた。皆さんに今後もふうせん広場と関わり続けてもらえるような手を打ちたい。



上：自己紹介タイムの様子です！
左：花壇にコスモスの種を播きました！そろそろ開花の時期です。

●今後の展開

- 砂場班
 - ・ 棒を立てて、木を合わせた3点と布で日陰を作る
 - ・ おもちゃを持ち運ぶ、みんなで作るイベントを企画
- 青空教室班
 - ・ 数か月～1か月に1度のペースでイベント開催
 - ・ 花壇整備、季節のイベント、BBQなど。
 - ・ 地域の方々と相談しながらイベント内容を決定
 - ・ 十余二小、すみれ幼稚園等にチラシを配布
- 地域の皆様への提案
 - ・ 町会のイベントをふうせん広場で開催



れんがを並べて花壇をつくり、好きなお花を選びました！

完成した看板と記念撮影をしました。かわいく仕上がりました！

